

該当箇所		意見		対応
第1章	P6	5~7行目	記載誤り ・年号・西暦の記載方法の変更。	・令和37年(2055年)・令和42年(2060年)の記載に変更。
		(1)②	提案 ・医療介護の情報基盤の整備に関して、DXの推進に対して導入費用の一部でも支援する体制があれば、推進しやすいのではないか。	・市単位での費用補助は現在考えていないが、国や県の情報の把握と提供に努める。 ・レインボーネットの活用促進を進める。(P89に関連内容記載)
第2章	P22 P23 P24 P35	表内	記載誤り ・西暦数字と年度の間スペースがある。	・スペースを削除。
	P27		提案 ・一般介護予防事業内容：料理教室などの再開希望あり。栄養に関する事業があるとよい。	・P98 (1)一般介護予防事業/①フレイル予防の推進とP104 (1)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施/①健康課題の分析・把握と対策におけるフレイル予防の場面で、栄養に関する事業を盛り込んで実施します。
	P28	表内	記載誤り ・サロンボランティア養成講座 実施回数。	・回数表記のため 『2日×2クール』 → 『2回×2クール』に変更。 『1日』 → 『1』に変更。
	P34	表内	確認 ・住宅改修支援事業の実績0は正しいか。	・実績0で正しいため変更なし。
	P39		意見 ■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見 ・咀嚼機能・口腔機能の低下(=オーラルフレイル)は、要支援、要介護のリスクが高くなるという報告は近年、様々な医学的論文、メディアを通じて言われている。 (ex.東京都健康長寿医療センター研究所) アンケートでは、該当者がそれほど多くなかった。一般市民の自分たちの生活支障度は、我々が伝えている程、困っていないかもしれない。	・ご意見を参考にさせていただきます。
	P46		提案 ■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見 ・用意されたものは参加してよいが、自分たちで企画するとなると・・・マンパワー不足が確実。 ・自分たちが行うことで、マンパワーの不足改善、運営費を抑え、相互の理解が進む。いかにやる気を起こさせるのか。	・P101の「2-3 高齢者の社会参加の推進」の説明文5行目に「高齢者が意欲的に取り組めるような社会参加の推進を図るとともに・・・。」という記載(下線部分)を追記。
	P49以降		提案 ■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見 ・地域包括支援センターの認知度up、 ・介護への理解を深めるには、周知が鍵。 ・小中学生から始める介護への教育、介護現場だけでなく、他の介護福祉の職種や、現場を見学、時には体験させることにより周知や理解が深まれば将来の人材・財源確保に一助になるのではないか。 ・最近、希薄化している年長者への尊敬、労りという日本古来の良さを取り戻す機会になれば。	・P76 図に「教育・保育機関」を追加。 ・P105 (1)おたがいさま意識の醸成/③福祉教育の充実の記載内容(市内小・中学校と連携し・・・「ともに生きる」ことを学ぶ福祉教育の充実を図ります。)のように対応していく。 ・P105 (1)おたがいさま意識の醸成/③福祉教育の充実 に「高齢者を支える医療介護の現場の重要性を多世代に伝えます。」という記載を追記。
P52		提案 ・人生会議・ACP 用語集に記載。	・P168に「ACP」、P170に「人生会議」を追記	

該当箇所		意見		対応
第 2 章	P60	提案	・課題②フレイル防止の取り組みについて 派遣する専門職の件数費分でも市で負担するなどの明記を。	・P100 (3)自立支援・重度化防止に向けた取組／③地域リハビリテーション活動支援にリハビリテーション専門職等による助言について記載があり。 ・必要性、対象者、実施方法などは決まっていないため、今後検討予定。
	再掲 P76	追記	・P49以降・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見	・図に「教育・保育機関」を追加。
	P84	(2)② 追記	・地域包括支援センターの居宅介護支援業務において直担ケースをケアマネジャーが25件担当している。居宅介護支援事業所が、居宅介護支援事業所の指定が取れるとよい。	・P84 (2)持続可能な地域包括支援センターの運営／②地域包括支援センターの適切な運営に「◆地域包括支援センターに加えて、居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受けることで、地域包括支援センターの業務負担を軽減し住民への支援をより適切に行う体制整備を図ります」という記載を追記。
	P85 P86	(3)① 追記	・個別避難計画について地域で考えていかないといけない。 ・環境課・施設管理課・防災交通課の担当とする項目があるが、任せて終りにならないように。 ・地域共生について学べる場があるとよい。	・P85「1-3 暮らしやすい地域づくり」の説明文3行目に「・・「ひとにやさしいまちづくり」を推進するとともに、市役所各課が連携し高齢者の暮らしに関わる様々な課題の解決を図ります。」という記載（下線部分）を追記。 ・具体的取り組みの記載はありませんが、P105「3-1 地域共生社会づくり」の説明文にあるように、市民、各種団体、企業、そして市が協働するような取り組みを推進します。
	P88	(1)② 追記	・地域ケア会議を含めた各段階の協議体の関連図を添付してはどうか。	・P79 第4章に（4）地域包括ケアシステム推進の手法 図を掲載。
	P89	(2)② 記載誤り	・ACP（人生会議）の推進の「もしバナカード」の表記について。	・もしバナカードに修正（下線部分）。
	P90	(1)② 修正	・ACP（人生会議）の普及啓発における「患者」という表現について。	・文頭の「患者の」→ 削除、文中の「患者」→「本人」に変更。
	P94	(1)② 確認	・担当について。	・P94 (1)高齢者の権利擁護／②成年後見制度の利用促進の担当については、社会福祉協議会との連携が必要なため 変更なし。
	P98	(1)① 追記	・介護予防の知識の普及啓発の他、通いの場を広くわかりやすく周知することに力を入れる。	・P98 (1)一般介護予防事業／①フレイル予防の推進に「フレイル予防に資する基礎的な知識や、通いの場などの情報を」という記載（下線部分）を追記。
	再掲 P101	提案	・P46介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見	・P101の「2-3 高齢者の社会参加の推進」の説明文5行目に「高齢者が意欲的に取り組めるような社会参加の推進を図るとともに・・・。」という記載（下線部分）を追記。
	再掲 P104	2-4(1) 全体に 修正	・取組内容を追加し記載（フレイル予防の取組記載）。	・P104 (1)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に新規項目「①健康課題の分析・把握と対策」を追加
	再掲 P105	(1) 追記	・P49以降・日常生活圏域ニーズ調査の結果からの意見	・P105 (1)おたがいさま意識の醸成／③福祉教育の充実の記載内容（市内小・中学校と連携し・・・「ともに生きる」ことを学ぶ福祉教育の充実を図ります。）のように対応していく。 ・P105 (1)おたがいさま意識の醸成／③福祉教育の充実「高齢者を支える医療介護の現場の重要性を多世代に伝えます。」という記載を追記。

該当箇所			意見		対応
第2章	P110	(1)⑤	追加	・対象者の条件を追記してはどうか。	・P110 (1)在宅生活を支える福祉制度／⑤出張理髪料金補助事業に「在宅の要介護3以上等で外出が困難な人が」という記載（下線部分）を追記。
	P111	⑩	修正	・⑩傾聴ボランティア養成・派遣事業の「在宅や施設へ」→「自宅等へ」。	・P111 (1)在宅生活を支える福祉制度／⑩傾聴ボランティア養成・派遣事業の「在宅や施設へ」→「自宅等へ」に変更。
	P112	(3)①	提案 質問	・訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問看護、認知症対応型通所介護の供給不足を感じるという調査結果あり。看護小規模多機能型居宅介護の整備が必要だが、他のサービスの充実、新たなサービスの普及推進を。	・調査結果と実際の需要が異なる場合もあるため、サービス提供事業所の意見も聞きながら、整備します。 （定期巡回・随時対応型訪問看護：R4年廃止）
第7章	P123	表内	修正	・在宅サービス利用回 → 在宅サービス利用回数。	・在宅サービス利用回数に修正（下線部分）。
	P129		質問	・看護小規模多機能型居宅介護はできる予定か。	・R7年開設予定。
	P132	表内	確認	・短期入所療養介護（老健）の第9期計画見込み値・長期見込み値が実績より少ない。	・正しいため変更なし。
	P139 P140	表内	修正	・単位（人）がない。	・単位（人）を追記。
第9章	P149	④	提案	・個人情報の共有・市の各担当課から包括や 介護（予防）サービス事業所に対し、最新の介護保険情報や市の取り組み、書類提出のルール等、情報提供の充実を迅速に図ることが重要と考えます。	・ご意見のとおりです。
	P152	表内	修正	・単位の記載方法。	・上の表（令和7年（2025年）及び令和22年（2040年）までの将来推計の把握）については 要支援・要介護認定者数に（人）を追記。 実績値・推計値の単位の人→削除。 ・下の図（一般介護予防事業の目標値）については サロンボランティア養成講座 実施回数の単位 日→ 削除。
	P153	表内	修正	・単位の記載方法。	・上の表（通いの場に関する項目の目標値）については 65歳以上高齢者数に占める通いの場の参加率（％）→削除し、実績・第9期計画目標値に％を追記。
	P155	表内	修正	・単位の記載方法。	・上の表 リハビリテーションサービス提供事業所数の表内単位 箇所→削除 ・上の表 市内専門職従事者数の表内単位 人→削除
資料編	再掲 P168	用語集 ア行	追記		・ACP：Advance Care Planningの略（日本語で人生会議） （用語集さ行「人生会議」参照）を追記
	再掲 P170	用語集 シ行	追記		・人生会議：あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人達と共有しておくこと。を追記。
	全体			・〇〇年度までに△△を行うといった風に時間軸の見通しを記載できるとよい。	・P151～155において進捗の目安を記載しています。